

2025 年度 専門医申請のご案内 (新規)

I. 乳腺専門医新規申請資格

- ・ 日本国の医師免許証を有していること
- ・ 基盤学会専門医であり、2019 年 7 月 31 日までに学会に入会していること
- ・ 会費を完納していること
- ・ 医師免許取得後 7 年もしくは、初期臨床研修期間（2 年）終了後 5 年以上経過していること
- ・ 乳腺外科専門医研修カリキュラムの基幹・連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは本学会が認定した認定・関連施設において所定の研修カリキュラムに従い、常勤で通算 5 年以上修練を行っていること
 - ※初期研修期間（2 年）は含まれない
 - ※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の勤務証明書が必要
- ・ 基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における乳癌経験症例が 100 例以上あること
 - ※初期研修期間（2 年）は含まれない
- ・ 乳腺疾患に関する研究業績が 30 点以上あること
- ・ 乳癌学会が主催する 2021 年以降の専門医・認定医セミナーの受講証明があること

II. 申請期間

2024 年 5 月 1 日～2024 年 7 月 31 日 23 : 59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。詳細は V.提出方法にてご確認ください。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III.申請書類

作成にあたっての注意事項

・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります

- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択してください
- ・旧書式による申請書類は受け付けません、最新版をダウンロードしてください
- ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください
- ・必ず手元に申請書類を保管してください

事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります

- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります（Ⅷ.参照）
提出書類は審査員が見やすいように提出してください（不鮮明なもの不可）
いずれもⅧチェックリストにあるファイル名にして提出してください

① 乳腺専門医(新規)申請書

【認定医の同時取得が可能です】※認定医の取得は任意です

希望の有無を「認定医の同時取得」欄にて選択してください

希望され、専門医に合格した場合は専門医認定料に追加して認定医認定料 1 万円が必要となります

新認定医制度について

これまでの制度では、認定医は乳腺専門医を目指す医師の為のその基盤としての資格でした。ゆえに乳腺専門医の資格を有する先生は、認定医の更新をしない限り、その資格を失効している状況でした。2024 年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。

認定医認定期間：2025 年 4 月～2030 年 3 月（専門医認定期間と異なります。専門医認定期間：2025 年 1 月～2029 年 12 月）

② 研究業績一覧

- ・乳腺疾患に関する研究業績が 30 点以上あること
- ・査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可）、学術誌、医学誌であること（病院誌・一般商業誌*は不可）
- *一般向けの商業誌。「乳がんの臨床」[癌と化学療法]など、市販されている査読を有する医学誌は可
- ・学会機関紙等に掲載された筆頭著者の学術論文（症例報告や原著論文）を 1 編以上含んでいること
- ・以下のような証拠となる業績を添付し、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと

*業績として認められるかどうかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となる。過去事例として、依頼原稿記事は内容により不可となる場合もあり

【論文】

- ・論文別刷あるいは出典・内容がわかる論文全体
- ・掲載予定の論文は掲載証明書と論文原稿の提出があれば認める

【学会発表】

- ・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か、会期がわかるページと抄録
- 過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

研究業績点数表

	欧文 論文	和文 論文	国際学会 日本乳癌学会	国内学会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会
筆頭	10	6	4	3	2
共同	3	2	1	1	1

- ③ 基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書（施設ごとに提出すること）
- ・非常勤の場合は常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書を添付（書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと）
 - ・産休、育休については修練期間には含まれない
- ④ 診療経験目録
- ・乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること（良性・疑いは不可）
 - ・手術療法（術者）、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域における 100 例以上の診療経験（混合は認めない）を記載
 - ・画像診断、放射線治療、薬物療法を選択した場合は、症例記録に詳細なレポート 30 例と 70 例の診療経験目録を提出する
 - ・当時指導を受けていた指導責任者が異動等によって現在その施設にいない場合は、現在その施設で指導を行っている指導責任者から証明をもらうこと（専門医である必要あり）

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・ NCD 検索システムより抽出した症例数を、修練した施設ごとに記載する
- ・ NCD 登録が行われていない 2012 年以前の症例は別途、乳癌症例の診療経験目録(NCD登録なし)を記載する
- ・ 2024 年 1 月以降に経験した NCD 未承認症例も、診療経験目録に指導責任者の証明があれば症例に含めてよい
- ・ 症例は術者に限る (助手は不可)

<症例の提出方法が変更になりました>

NCD のシステムにログインをしていただき、システムより症例を提出いただくこととなりました。別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」(HP に掲載)に従い、申請前に以下の URL より「提出する」を実施してください。NCD から事務局へデータが提供されます

<https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD 検索リストの提出は不要です

※NCD から提供された症例数データが 100 例を満たさない場合は事務局より問い合わせいたします。申請前は事務局では症例数の回答はいたしませんので、ご了承ください。ご自身の症例数は従来通り NCD 検索システムでご確認ください

【画像診断】

- ・ 乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名・診療内容の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記入する
- ・ 経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要(細胞診による診断は不可)
*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・ 再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・ 乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射期間、照射線量、診療内容の記載が必須
- ・ 診療経験目録には、施行期間、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射線量を記入すること

【薬物療法】

- ・乳癌症例記録（薬物療法）には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・レジメ・薬剤名・投与期間・診療内容の記載は必須。この症例記録では、転移再発症例での治療経験を 30 例中 15 例以上提出すること
- ・診療経験目録には、施行年月・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・病理組織診断名・HR・HER2・レジメ・薬剤名を記入すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。（転移再発症例は症例記録、診療目録合わせて 100 例中 30 例以上あることが望ましい）
- ・周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可）また、初回投与開始症例のみに限る
- ・転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは 1 レジメまでとする。（同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可）レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。（殺細胞抗癌薬のみに限定しない）臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする

- ⑤ 医師免許証
- ⑥ 2004 年以降の医師免許取得者は臨床研修修了証
- ⑦ 基盤学会専門医認定証
- ⑧ 2021 年以降の専門医・認定医セミナー受講証

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
 - ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつき合わせ確認が出来るようにしておくこと
- 尚、サインをした指導医は、監査に際しては立ち合いを求められます

IV.申請手数料について

申請手数料：10,000 円

【郵便局からのお振込】

口座記号番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行、ネットバンキングからのお振込】

銀行 支店：ゆうちょ銀行 019 (ゼロイチキュウ) 支店

預金種：当座預金

口座番号：0404708

名義人名：日本乳癌学会専門医制度委員会

申請前に必ず申請手数料のご入金をお願いいたします

※振込の際、可能であれば通信欄に「専門医新規申請料」とご記入ください

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません

V.提出方法

zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください

<https://jbcx.xdrive.jp/index.php/s/rQHNxJbjxtAPEbp>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、VIII. チェックリストにてご確認ください

申請書類と申請料の入金確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に2週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2024 年 7 月 31 日必着）

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください
〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛 まで

VI.書類審査結果について

書類審査の可否は申請書に入力いただいたメールアドレスにご連絡いたします
書類審査通過後、専門医試験のご案内をいたします

【筆記試験】

日程：10月19日(土) 14:00~15:30 予定

CBT 方式

【面接試問】

日程：10月20日(日) お時間は書類審査合格後、個々に設定してご連絡します
WEBにて実施

受験料：30,000円 書類審査通過後にお振込み先をご案内いたします

認定料：10,000円 ※認定医の同時取得希望の場合は20,000円
試験合格後にお振込み先をご案内いたします

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話での
お問い合わせはお控えください

VIII.チェックリスト

	申請書No	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	①	乳腺専門医(新規)申請書	Excelのまま	ss_1-2_申請者名	申請書フォームの必要箇所にご入力いただきそのまま提出してください。③以降はPDFで提出ですが、削除せずそのままご提出ください
<input type="checkbox"/>	②-1	研究業績一覧(論文)			
<input type="checkbox"/>	②-2	研究業績一覧(発表)			
<input type="checkbox"/>	③	基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書	PDF(印をもらったあと)	ss_3_申請者名	複数ある場合は続けてひとつのPDFにおまとめください ※非常勤の場合は常勤に準ずる旨の勤務証明書を添付
<input type="checkbox"/>	④-1	診療経験目録(症例記録)	PDF(指導責任者印をもらった後)	ss_4_申請者名	手術療法の場合、④-2は2012年以前の症例を申請する方のみ提出 複数ある場合は続けてひとつのPDFにおまとめください
<input type="checkbox"/>	④-2	診療経験目録			
<input type="checkbox"/>	⑤	医師免許証	PDF	ss_5_申請者名	
<input type="checkbox"/>	⑥	臨床研修修了証(2004年以降医師免許取得の場合)	PDF	ss_6_申請者名	
<input type="checkbox"/>	⑦	基盤学会専門医認定証	PDF	ss_7_申請者名	
<input type="checkbox"/>	⑧	専門医・認定医セミナー受講証	PDF	ss_8_申請者名	
<input type="checkbox"/>		論文	PDF	ss_論文_申請者名	②の添付資料として 複数ある場合、論文で一つのPDFにおまとめください
<input type="checkbox"/>		学会発表等の抄録	PDF	ss_発表_申請者名	②の添付資料として 複数ある場合、発表で一つのPDFにおまとめください